

みんなで考え、共有し、行動する

六郷助けあいプラットフォーム

1部 報告会

～大田区社会福祉協議会 「新たな試み」による地域づくり～



本日のタイムスケジュール

時間	内容
18：30	開会の言葉
18：35	報告会
19：05	休憩
19：15	第2部の説明
19：25	話し合い
20：10	話し合いの共有
20：20	お知らせコーナー
20：30	終了

【報告したい内容】

- ① 助けあいプラットフォームのきっかけ
- ② 取り組み内容(平成29年度/平成30年度)
- ③ 2年間の成果と今後に向けて



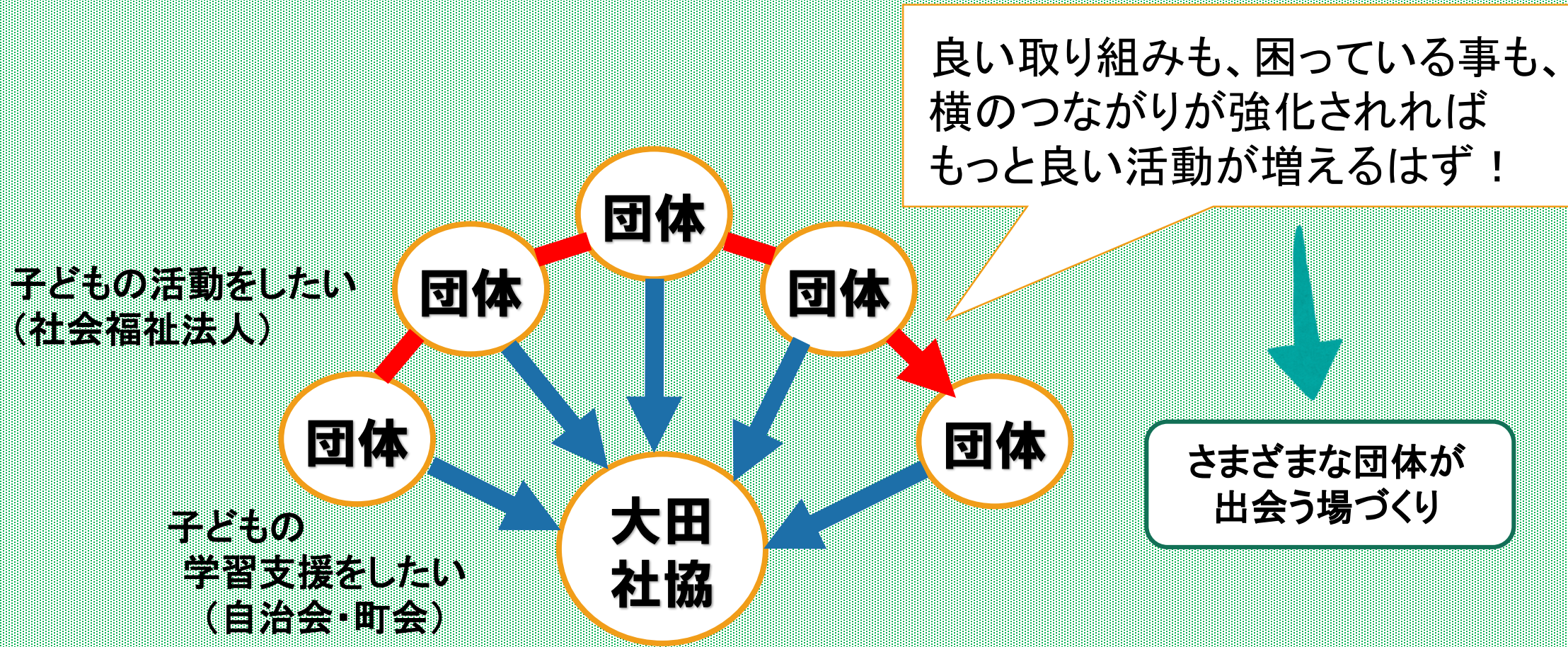
プラットフォームとは…

さまざまな団体が、その特技や資源を持ちより、自発的に対等な立場で参加することで、個々の団体ではできない、より大きな力を発揮する課題解決のための共通の土台。

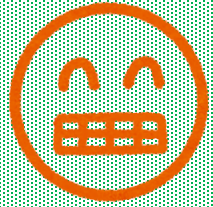




六郷助けあいプラットフォームのきっかけ



六郷の子どもが大人になるまでの過程を安心して過ごせる地域に

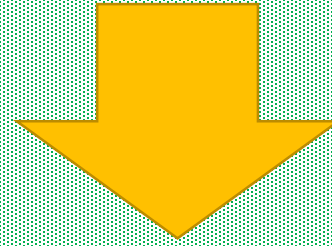


子どもを取り巻く状況

よく話題になる子どもの課題

・子どもの貧困 ・虐待 ・発達障がい ・いじめ ・不登校、ひきこもり ・学力低下 ・体力低下・非行(暴力) ・養育力の低下 ・地域力の低下・インターネット、スマートフォン問題 etc..

課題の複雑化
課題の深刻化



複雑・困難

だからこそ連携が大切

発達障
がい

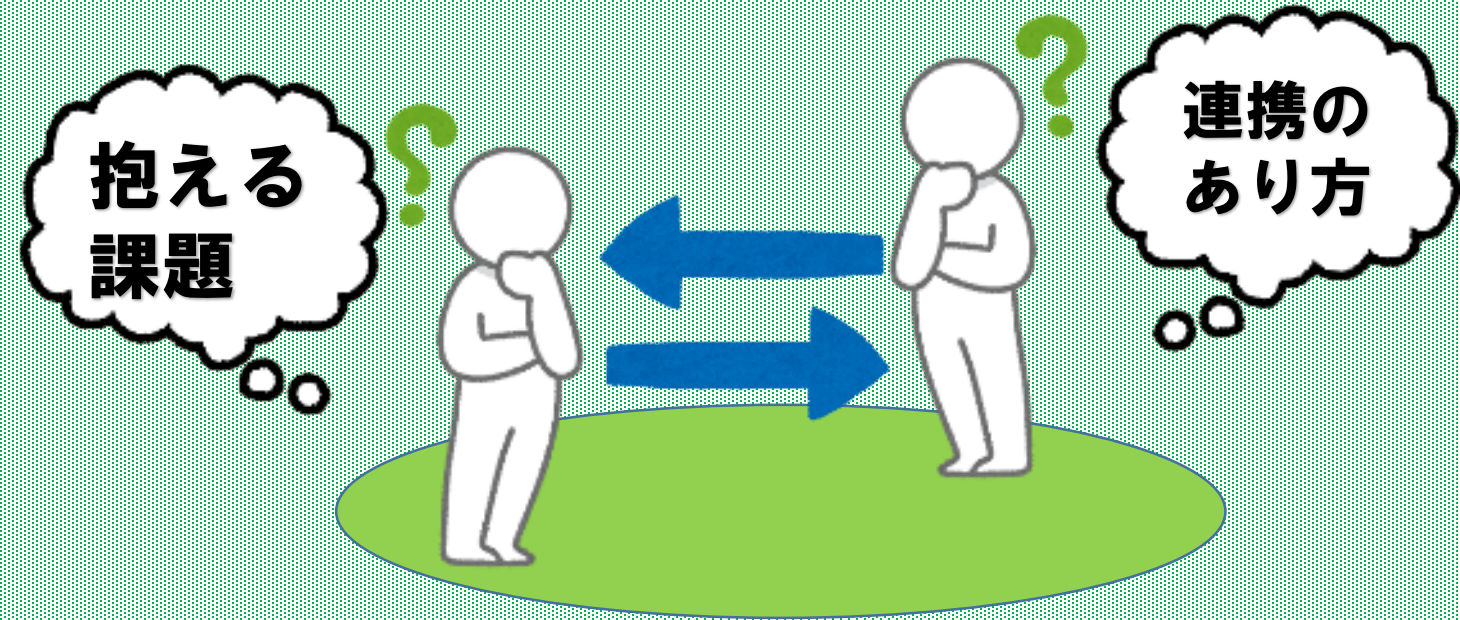
いじめ

ひきこもり

孤立・連鎖

連携が必要だと言われているのになかなか進まない理由

「それぞれが抱える課題」「連携のあり方」に相違があるままでは、連携はうまく図れない・・・。



専門、立場の違う人が集まると話し合いが難しくなる。

課題認識が違う

人は関心あるものを見る

判断基準は経験からくる



平成29年度の取り組み

そこで、「地域住民・団体自らが地域の福祉課題を**共有**し、解決の糸口を探るための**場づくり**を」と話し合いの場を設定。

- テーマ**:「**子どもの課題を共有する場**」
- 開催日**:平成29年 11/21、12/5、
平成30年 2/6、2/20の全4回
- 参加者**:自治会・町会、民生委員児童委員(主任児童委員)、
青少年対策地区委員、小中学校、児童館、社会福祉法人、
NPO法人、地域包括支援センターなど

正解がないからこそ、課題を共有しながら、
試行錯誤する、話し合う場が必要！！

助けあいプラットフォームをモデル的に試行

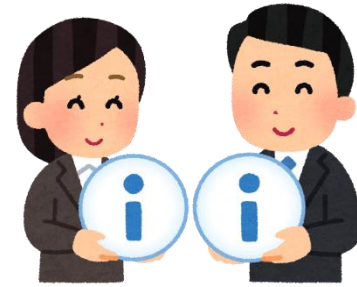
ステップ
1

お互いの活動を知る



ステップ
2

それぞれの立場から
見える課題を共有



ステップ
3

見えてきた課題を
掘り下げて本質を探る



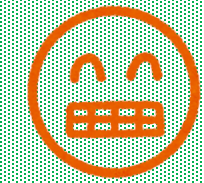
ステップ
4

連携して取り組めること
足りない機能を把握



【初回】 4回連続講座

地域課題の現状把握と
話し合いの場の下準備が完了



話し合いで明らかになったこと

見えてきた課題の本質

子ども

- 子どもの実際（コミュニケーション方法・遊びなど）がわからないことが多い。
- 「わからない」ということも地域の課題である。

親・家庭

- 必要なのに相談できない人、孤立している人が相談できる仕組みが必要
- SOSが出せる地域づくりが必要

支援者

「個人情報保護」は壁ではなく、「個人情報をどう使い、管理するのか」の情報が共有されていないことが不安につながっている。ただし、本人同意を得ることは容易ではない。

人材

- ライフスタイルが変わってきていることをとらえていない。
- 手伝ってほしいことが明確にできていない。
- 今までのやり方を変えるのは大変である。

連携して取り組めること

- 支援者側がしっかりニーズを把握する。
- 支援者と支援されるの関係ではない交流の場、機会をつくる。
- いろんな側面の個人情報保護を勉強する。
- 助けあいのルールづくり
- 出来ないことを明確にした求人募集
- 知らない団体とももっと関わりを持つ

地域に足りない機能【募集掲示板】

- 子ども食堂や学習教室
⇒目的をきちんともったもの
- インターネットに関わるしくみ
- 親・子と地域が知り合える環境
- SNSやネットによる情報発信機能



平成30年度の取り組み

【目的】

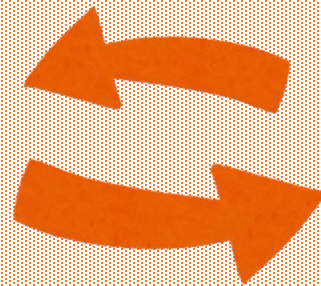
六郷地域で活動する団体(者)同士の顔の見える関係づくりと、地域の福祉課題を解決するために連携が取りやすい環境(土台)をつくる

- ◆開催日・・・毎月**第1火曜日の夜6時30分**から
- ◆会場・・・六郷地域力センター4階会議室
- ◆対象者・・・六郷で福祉に関する活動などを行っている方で、子どもの課題解決にご関心のある方
- ◆今後の参加者・・・参加者の口コミで徐々にメンバーを増やしていく。
- ◆地域外の参加・・・場合によってはゲスト扱いで参加や見学もありとする。

【内 容】

地域のニーズや実態把握、必要なことを議論する「話し合いの場」と活動において必要な知識を深めるための「勉強会」を実施し、団体同士の課題等の認識や目的を共有する。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
話し合いの場 ＜ニーズ把握＞	○	○		○		○		○		○	○
勉強会 ＜インプット・ リソース把握＞			○		○		○		○		





話し合いの内容

地図で状況把握



地域だからこそ出来ることとは？



アイデアを整理

- ◎住民がSOSを出しやすく発見しやすいしくみ
- ◎地域活動に参加しやすいしくみ
- ◎まちに関心をもってもらうしくみ

しくみが整うために必要なことを考察

- 「**交流の場**」を地域住民が作ることによって**顔のみえる環境を整備**できる。
- 子どもや知り合いなど**誰かと一緒なら**参加しやすい。
- 子どものころからの関係づくり**が大事。

上記3つのしくみを整備することが課題解決の最初の一步

◎見えてきたこと

- 公園に子どもたちが多く集まっている。
- でもその公園で子どもを見守るしくみが少ない。
- その地域、世代ならではの集まる場所がある。
- 地図上だけではわからない子どもたちの実態はまだ見えない。

◎見えてきたこと

- 大人が楽しそうに活動をしていることが町の良い雰囲気をつくる。
- 何か地域のためにやりたいと思っている人は結構いる。でもなかなか入るのが難しい。



勉強会の内容

勉強会テーマのアンケート結果

1	個人情報
11	子どもの実態
11	他の団体の活動
2	行政の制度



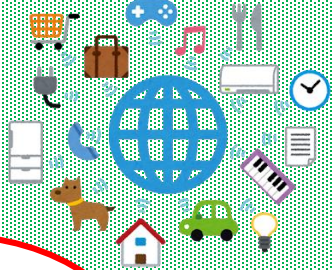
7月	「地域活動における個人情報の共有と取扱い事例」 講師: 田園調布学園大学 村井 祐一 氏
10月	「子どもの居場所を地域住民がつくることでどのような効果があるのか」 講師: 気まぐれ八百屋だんだん 近藤 博子 氏
12月	「六郷の子どもたちの放課後を知る」 講師: 六郷地区の児童館長 放課後等デイサービス ポジティブ
2月	「公園で子どもたちを見守る活動」 講師: もっと遊べる五丁目公園の会 廣川 和徳 氏

2月の話し合いで出たご意見

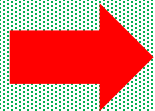
- 望む姿と実情が開きすぎている気がするので本当にできるかと思ってしまう。
- もっとリアルな実情（深い話）を知りたい。
- 話していると何かやりたくなるので、やりながら考えていく
- 1月のシミュレーションで話したプランを実現したい。
- 実際にやるのが大事なのではないか。
- それぞれの立場で得た実態を話してもらおう。
- 思うようにいかないジレンマもあるが、小さなことから実現できたら。
- ここにきていない地域の方の声がわからないので、もっと声かけしていく必要があるのでは？



2年間の成果と今後に向けて



時代の変化



助けあいプラットフォームが必要な背景

人々の生活が変化

ライフスタイルの変化・多様化
インターネットの普及、店舗の
充実、家庭用電化製品の進化、
核家族化、単身世帯の増加

生活が便利になる一方で…

昔は当たり前だった**助けあい**が希薄化
し、サービスは、行政や企業から受け
るものという感覚が。。。
地域や人に対する関心が薄れている。

我が事が必要

社会環境の変化

少子高齢、日本の人口減少

福祉課題の変化

子どもの貧困、ダブルケア、8050問題



丸ごと受け止める必要性

これまでの話し合い
でもココが肝！

福祉の課題は複雑化し、一つの分野・団体だけでは解決は困難になってきた。
人口が減る中、**福祉の人材不足**も。サービスが今後担えるかが問題に。。

こうした時代変化を捉えることと、将来に向けた対策を今から取り組むことが必要
我が事・丸ごと「地域共生社会」や「地域包括ケアシステム」

プラットフォームでの効果とねらい

時間経過



予防的取り組み

学習塾
トレーニングジム
お祭り

子ども食堂
サロン活動
多世代交流

日本語教室



制度等による支援

児童館
見守り活動
放課後等デイサービス

子ども家庭支援センター
地域包括支援センター



児童相談所
福祉事務所



もちろん社協も同じ参加者として
一緒に行動目標を立てますし
事業立ち上げなどの応援もします。

- 実態の共有
- 課題分析と整理
- 地域で出来ることの検討
- 連携して取り組めることの検討
- 行動目標を立てる
- 理解を深める



共有

六郷助けあい
プラットフォーム



参加者の
行動

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援

プラットフォームでの効果とねらい

六郷の子どもたちが（住民が）安心して暮らせるまちに

参加者の
行動

共有

- 実態の共有
- 課題分析と整理
- 地域で出来ることの検討
- 連携して取り組めることの検討
- 行動目標を立てる
- 理解を深める

- 実態の把握・発見
- 各事業の強化
- 活動の連携
- 新たな事業の立ち上げ
- 広報・呼びかけ
- 活動への理解・応援

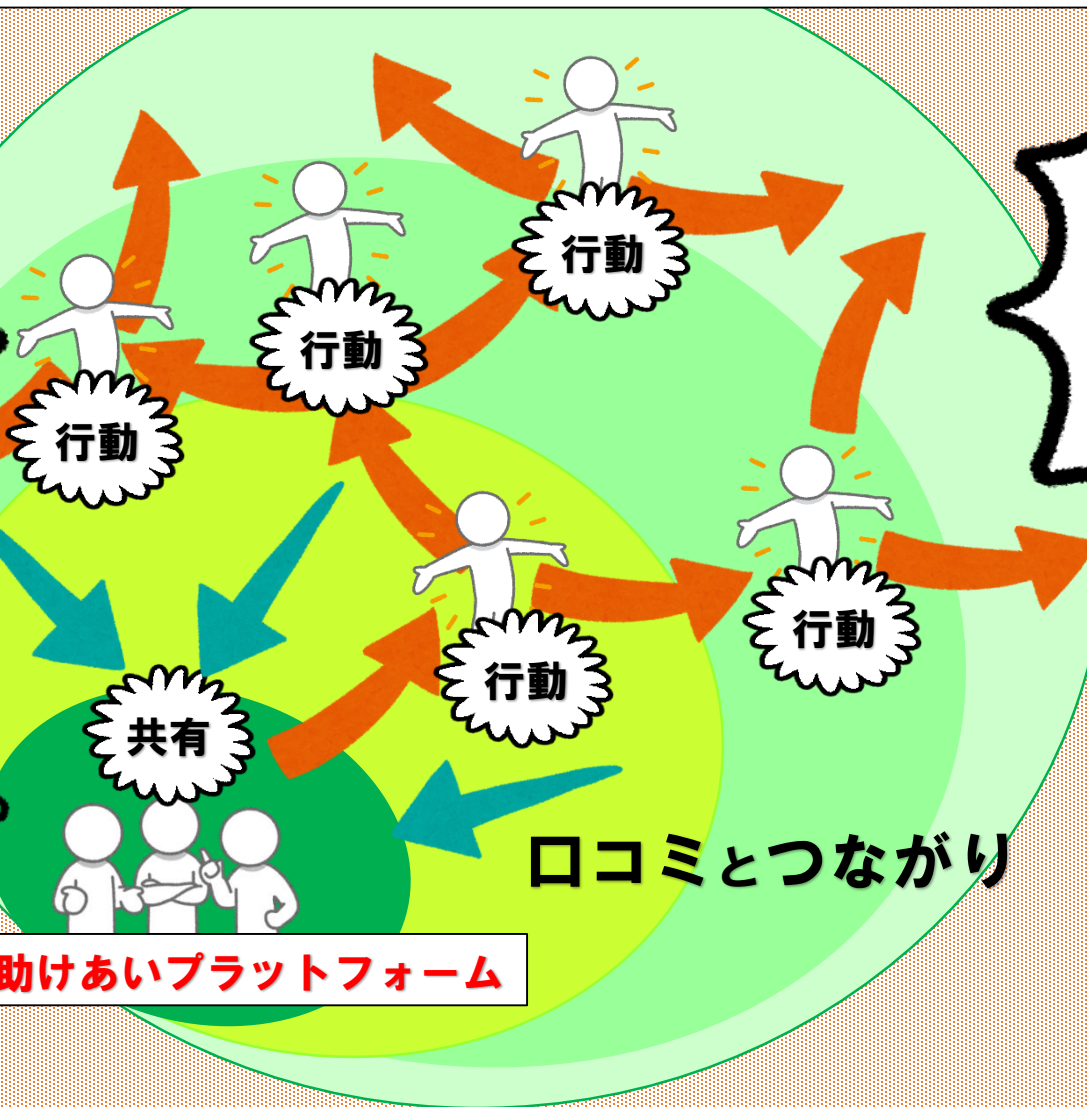
今はココ



共有

口コミとつながり

六郷助けあいプラットフォーム



「プラットフォームの話し合い等を通じての変化・成果」

～参加メンバーの声～

★こどもの実態把握・発見ができたこと

- いろいろな他の組織(NPOや民間団体)での子どもの関わり方がわかった。
- 違う視点で関わっている人のお話は参考になった。
- 六郷にたくさんの公園があることを知りました。
- 児童館と学校の放課後教室の利用と活動を知ることができた。
- 幼稚園の母親達に興味をもつようになった。
- 自分たちの活動以外の地域での子どもたちの遊び場の様子がわかった。
- 六郷地区の中でも地域特徴が違うことがわかった。
- 子どもたちと直接に接する団体からの話を聞くことで生の声を知ることができた。
- この話し合いから実際にイベントを実施してみたら、イベントに参加するたくさんの親子が地域にいることがわかり、喜ぶ顔が見れたことで今後の励みになった。
- 自分の町会外の子どもの現状把握ができた。

★話し合いや勉強会のなかで理解が深まったこと

- 大田区でプレーパーク活動をやっている実践があること
- 会を重ねることで、良い近い存在として他の団体の活動を伺うことができた。
- 子ども食堂に関心が出てきた。
- 自治会町会からNPO、企業までさまざまな方と知り合いになった。
- いろいろな団体があり、子どものために行動している人が多いことがわかった。
- 大田社協と年末にクリスマス会ができたことが良かった。

★他団体との連携・交流が図れたこと

- 他団体の方との顔の見える交流ができた。
- 他団体からの見学があった。
- 他団体との相互理解が進んだ。
- イベント開催の協力打合せができた。
- この参加者が新しく始めたイベントに参加させていただいた。
- 地域包括支援センターと児童館とのつながりができ、懇談会に参加してもらったり、児童にお年寄りのことを知るきっかけの体験の企画ができた。
- 今まで知らなかった社会福祉法人やNPO法人の活動を知り、交流が図れた。
- たくさんの情報共有ができたし、近くにある団体のことがわかった。
- 現場の生の声がきけて、民間企業として協力すべきことがあると思った。

★自身の団体の事業に反映できたこと

- 放課後教室で具体的に学習支援をすることになった。
- 他団体とのつながりができ、イベント協力いただいた。
- この会を通じて、元お蕎麦屋さんの空き店舗の情報を紹介してもらえた。
- 「ちいきげんき食堂」の開催を計画している。
- 子どもボランティアの場ができた。
- この会で出会った方々がイベントにボランティアスタッフとして参加してくれて遊びコーナーも盛りだくさんにできた。

未就学児におすすめ！親子同伴でお越しください

六郷ハートボックス PRESENTS

12月・祝 10時30分 から 12時

10時受付開始

12/24 サンタが やってくる！

“子どもあとのしみ会”

in 東六郷二丁目町会会館

①あそびのコーナー
あなづみ、さかなつり、マトあて、ポーリング
サンタのお面づくり

②サンタと記念写真
サンタさんと記念写真と数量限定さ
しプレゼントもあるよ！

③ハンドベル&
みんなであつたを歌おう

10時00分
より受付

スレゼント
限定

六郷ハートボックスとは
私たちが何か出来ることはないかと地域の神
井戸福会を聞いて始まった団体です。身近で
安心できる居場所、コミュニティの再生を
私たちに、アイデアを持ち寄り活動し
ています。一緒に活動する仲間も募集
主催：六郷ハートボックス 共催：東六郷二丁目町会（社）



社協もチラシ
づくりや
事業企画を支援



的あてゲーム



ポーリングゲーム

参加者127名
(子どもは67名)



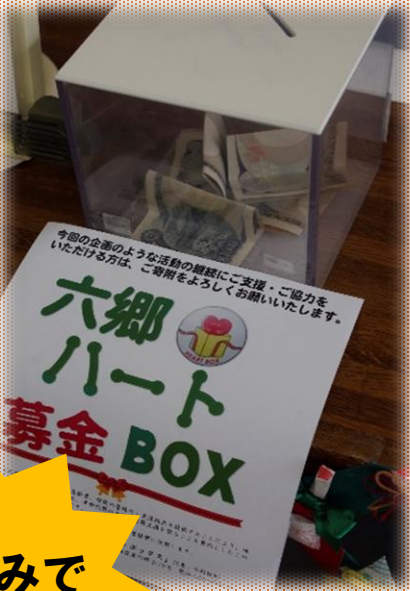
さかなつりゲーム



サンタからプレゼント
& 記念撮影



ハンドベルの演奏とみんなで大合唱



初の試みで
募金を実施



みんなぷら~っと
来てくれました



ぷらっと食堂の皆さん

5/5(日)
第1回ぷらっと
食堂開催!

- ・カレー
- ・サラダ
- ・スープ

カレーも
甘いものも
美味しかったよ!



ぐーちょきぱーさんによる紙芝居



「六郷の子どもたちが(住民が)安心して暮らせるまちをめざして」

- ◎**子どもの実態把握**が必要。
- ◎**顔の見える環境を整備**するために「**交流の場**」が必要。
- ◎**地域活動に参加しやすいまちになるためには、子どもや知り合いなど誰かと一緒に参加しやすい。**
子どものころからの関係づくりが大事。

年間を通して取り組みたいこと(年間目標)

- これから児童相談所が立ち上がることをふまえて地域に必要なものを考える。
- 地域の居場所づくりの経験交流を図る。
- **自分に貢献できることを探す。**
- 助けてほしいことを探す。
- 不登校への理解をこのプラットフォームに参加している方々に広めていきたい。
- **このプラットフォームで交流をしながら、こちらがtakeできること、他団体からgiveしてもらえることを知っていききたい。**
- 商店街と連携して子どもイベント、高齢者イベントを実施する。
- 継続できるイベントにしたい。
- **子ども食堂について勉強する。**
- **いろんな立場や視点での今の子どもの現状を知り、把握に努め、自分の業務に活かしていくことで、六郷地域に貢献していく。**
- **より六郷の地域を掘り下げた子どもをとりまく実態を知っていききたい。**
- **2か月に1回「ちいきげんき食堂」をみなさんとやりたい。**
- **子どもも高齢者も同じ場で楽しめる取り組みをしたい。**
- 自分の特技(おもちゃドクター資格)を活かして交流の場づくりに貢献したい。
- **継続して参加し、この活動内容をより深く理解し、さらに行動に移したい。**
- 月1回の駄菓子屋さん(お菓子を買うだけに終わらず、大人用コーヒーや子育て相談、紙芝居、人形劇など広げていきたい)を取り組む。
- **今後町会の体制作り、他団体とのつながりを強化し、一の矢でなく、三本の矢で行いたい。**

次回(5/7)までに取り組むこと(行動目標)

- **多世代交流を実施する。**
- **子どもをめぐる社会を子どもの目を通して考える。**
- **ポジティブさんが実施する5/5子ども食堂のお手伝い・参加する。**
- **さまざまな事業に参加する。**
- **子ども事業に関する取り組みに事業所のイベントなどに参加したい。**
- **みんなと協力して「ちいきげんき食堂」をやりたい。**
- **住民としては、家内、近隣など子どもの見守りについてヒアリング**
- **今までの勉強会をプラスにして現実に行う。**
- **地域住民との交流**
- **プラットフォームの取り組みをより多くの人に周知する。**



大田社協も参加者として目標設定!

- **交流の場づくりに取り組んでくれる住民や団体の立ち上げ支援を行う。**
- **このプラットフォームの取り組みをこの場に参加していない方にも広報をして参加の輪を広げる。**

コレクティブ・インパクト

collective impact

の手法で取り組む新たな連携のカタチ

「助けあいプラットフォーム」



地域の課題を共有・協議する場



ご清聴ありがとうございました！